

# 歴史探訪

## クラブ!

其の 169

History Inquiry Club



文化生涯学習課 ☎ 22局 1720  
(博物館) FAX 22局 2028

### 田原市の道路元標

田原萱町交差点の東側三差路の歩道内に、旧田原町道の原点を示す標識があります。住所では、田原市田原町萱町七四番地四の南側に当たります。花崗岩で作られた四角柱に、田原町道路元標と刻まれています。

道路元標は、道路の路線の起点や終点を表示するための標識で、大正8年(1919)に制定された旧道路法に基づき、各市町村が市町村道の起点を示すものとして設置を義務付けられました。道路元標の大きさ



●田原町道路元標

は、大正11年の内務省令によって高さ60cm、幅・奥行きは25cmと決められていました。市町村間の距離算定の基準点としても使用されるため、市街地の中心地で、市町村道と国道・県道と接する位置に設置されています。

しかし、昭和27年(1952)制定の道路法には、道路元標の設置義務がないため、市町村によっては、道路元標が取り壊されたり、工事などでなくなってしまったところも少なくありません。



●道路元標交差点から北を見る

また、設置された当時、約1万2000の市町村がありました。市町村合併が進んだ現在、その現存数も少なくなっています。

田原町の道路元標に面

した道路は、現在、県道28号になりましたが、かつては国道259号でした。ここから東に約200m進むと、船で田原へやって来る人が到着する船倉港があり、田原藩時代には海路の入口にあたります。柳町には

かつて「木戸三」という旅館がありました。この旅館の屋号は、田原城下町への入口として木戸があったことを示しています。この道路元標がある三差路から北へ進み、最初の交差点を西へ直角に曲がると本町通りへ続きます。大正時代末期から昭和時代初期には田原の町には、旅館・料理屋が60軒以上あり、この周辺は夜もにぎわいを見せていました。

道路の変更により、現在の位置は信号交差点ではなくなりました。田原町から田原市となり、あまり目立たなくなっていますが、その姿は「歴史の生き証人」です。

(鈴木)

### 今月の「表紙」

▼元日のニューイヤークラッシュのトヨタ自動車の連覇の報に、夢や元気をもらった方も多かったのではないのでしょうか。上州路での選手達の走りは、市の花でもある菜の花の花言葉「活発」「元気」と合います。皆さんも現在開催中の「渥美半島菜の花まつり」で、元気を注入されてはいかがでしょう。か。(H)

【表紙の写真菜の花(田原町)】